

e - 普及だより

第16号（通算647号）

平成17年8月  
編集・発行 農林水産省経営局普及課／女性・就農課

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。

☆普及センター所長等研修を振り返って☆  
・山梨県東山梨農業改良普及センター所長 秋山 康三

☆普及課からのお知らせ☆  
・農業改良資金最新貸付事例紹介

◆◇技術会議事務局地域研究課からのお知らせ◆◇  
・風味豊かなソバ、雑穀、イモ類、サトウキビで新たな機能性  
食品を

～畠作物・資源作物の健康機能性と地域食品産業の振興セミナー～

★INFORMATION★  
・生研センターからのお知らせ

★編集後記★

## 普及センター所長等研修を振り返って

何れの研修課題とも私たちが普及活動を行う上で非常に重要な課題ばかりであります。特に基本法に強調されている食料自給率の向上と農村機能の維持については、食料自給率を上げるための行動計画、農村機能維持のための普及活動の取り組みの重要性を説明いたしました。

また、全国から集まった方々と新しい協同農業普及事業の下で、効率的な普及支援活動や普及センターの今後の運営のあり方について意見交換することができることになります。

普及〇Bの群馬県立農業大学校の松井先生の講義では、普及活動の基本的考え方、普及の役割・連携及び所長の役割等について修得でき、今後の普及活動を行っていく上で非常に参考になりました。

私の赴任した東山梨農業改良普及センターの管内は、果樹が9割を占める果樹農業に特化した地域であります。収益性の高い農業を行っておりますが、近年、農業就業者の高齢化・女性化の進行、農業後継者の不足、農用地の遊休・荒廃化並びに開発軒用に伴う優良農地の減少など多くの課題があります。今回の研修で習得した知識・技術を参考にして地域の農業の維持・発展を目指して努力していくことを考えております。

なお、平成18年に先機関の組織再編が予定されており、本県の普及活動体制は、総合農業試験場に高度技術センター機能を統合し、「総合農業技術センター」（一部は各試験場に普及担当部を分散配置する）として普及指導員を配置し、試験研究との連携強化や一体的な高度技術の支援活動を展開するとともに、県下の4行政区域に地域農業支援センター機能を持つ「農務事務所」を設置し、一般農政と農村整備とあわせ普及指導員を配置し地域活性化や生産振興など農業・農村支援活動を展開することとしております。

の振興に効率的・効果的な農業生産体制の確立を目指す。この点で、農業生産の現状と新規開拓地の開拓は、密接な関係がある。

e-普及だよりメルマガ版16号.txt  
的な普及指導活動が展開できるよう努めていきたいと考えております。

\*\*\*\*\*

### 普及課からのお知らせ

\*\*\*\*\*

#### 【農業改良資金最新貸付事例紹介】

普及員の方々から、他の地域での農業改良資金の貸付事例を参考にしたいので、教えて欲しいという意見が多く寄せられます。

そこで、e-普及だよりも農業改良資金の最新貸付事例を紹介することとしました。特に、農業改良措置を行う理由に注目して農家の貸付相談等、参考にしていただければと思います。

#### 『乗用型茶摘採機を導入した摘採作業の省力化推進』

##### 1. 地域の概要

本事例の〇〇市は県内随一の茶産地で、基盤整備も進んでおり、認定農業者の1戸当たりの茶経営規模も比較的大きい。約20年前からの製茶工場再編整備の推進により、4カ所の全自動大型共同製茶工場が設立され、製茶加工の省力化は一定の成果をあげており、現在は栽培面での省力化が大きな課題となっている。

##### 2. 借受の動機

茶主体の経営を行う認定農業者であり、規模拡大による経営改善意欲は高い。現在、製茶加工は全自動大型共同製茶工場に属しており、省力化が進んでいるが、栽培管理、特に可搬式摘採機による摘採作業での労力不足が規模拡大の妨げとなっている。

そこで、摘採作業の省力化を図るため、乗用型茶摘採機の導入を計画した。摘採と加工を同時に並行で行う構造上、規模拡大を図るには大幅な労働時間増となり、家族労働のみでは限界があった。

##### 3. 導入した機械、施設等

	事業費	借受額
乗用型茶摘採機	3,750千円	3,750千円

##### 4. 事業実施の状況及び今後の目標

乗用型茶摘採機が導入されたことで、摘採作業の大規模な省力化が見込まれる。ただし、本機械利用による摘採を行うには茶樹の整形作業が必要で、整形園では一時的な減収が生じるため、計画的に機械導入を進めなければならない。

また、省力化が進むことで100ha程度の規模拡大を予定している。

\*\*\*\*\*

◇◆◇技術会議事務局地域研究課からのお知らせ◇◆◇  
風味豊かなソバ、雑穀、イモ類、サトウキビで新たな機能性食品を  
～畑作物・資源作物の健康機能性と地域食品産業の振興セミナー～

\*\*\*\*\*

平成17年9月27日（火）13～17時に、東京農業大学世田谷キャンパスにおいて畑作物・資源作物の健康機能性物質に関する研究や農業と食品産業との連携に関することについて話題提供を行います。また、畑作物・資源作物の加工品の試食・試飲会もありますので、地域の産業振興、地産地消のアイデアを探してみませんか。

セッション1：「畑作物・資源作物の有する健康増進効果」について6名の講演会

セッション2：パネル展示と試食による交流会  
主催：独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構  
日時：2005年9月27日（火）13時から17時  
場所：東京農業大学世田谷キャンパス  
参加費：無料  
申込先：<http://www.naro.affrc.go.jp/>

\*\*\*\*\*

I N F O R M A T I O N

ページ(2)

\*\*\*\*\*

《換気作業を必要としないトンネル用の被覆資材》 生研センター

1. トンネル栽培では換気作業の省力化が課題

ハウス内のトンネル栽培、露地でのトンネル栽培では、毎日のように、フィルムの裾を持ち上げて換気を行います。新潟県におけるスイカのトンネル栽培の事例では、換気作業に10アール当たり30~40時間を要しています。生産規模が大きくなると換気作業の省力化が課題となります。

2. 新しいトンネル用被覆資材

ここで紹介するトンネル用被覆資材（商品名：タフツーキ）は、トンネルの側面（裾部）はフィルム状、トンネルの上部（天頂部）がネット状の資材です。慣行のトンネル栽培では、日中、トンネル内の温度は高温になりますが、この被覆資材では高温にはなりません。また、この被覆資材には吸湿性、透湿性があります。

3. 期待できる効果

メロン、スイカのハウス内トンネル被覆資材、育苗用のトンネル被覆資材などとして使用すると効果的です。以下のような効果が期待できます。

- ①日中、トンネル内が高温になりにくいので、換気作業を省力化できる。
- ②トンネル内の結露水のボタ落ちがなく、過湿状態になりにくいので、病害の発生が抑制される。
- ③ハウス内のトンネル栽培に使用すると、ハウスサイドの換気が増えても、トンネル内の作物に直接冷気が当たることがないので、低温障害を受けず順調に生育する。
- ④葉肉が厚く節間がつまつた、旺盛な生育を示す。

4. ハウス内のトンネル栽培の事例

ハウス内のトンネルにこの被覆資材を使用して、メロンを栽培した北海道の事例では、ハウスサイドの換気が多くなっても、冷気が直接メロンにあたらないので、低温障害が発生していません。また、被覆資材に吸湿性があるため、トンネル内が乾燥しやすく、キンカク病などの発生を抑制できるので、商品価値の高いメロンを生産できます。

5. 育苗床のトンネル栽培の事例

トマト育苗床のトンネルにこの被覆資材を使用した事例では、被覆資材からの結露水の落滴がなく、トンネル内の湿度も低い状態を維持するので苗床における病害の発生は抑制されます。また、天候が不順で、定植の適期に達している苗を定植できない時間が長くなると、トンネル内の苗は徒長しやすくなりますが、この被覆資材を使用すると、かん水しても湿度が高くならないので苗の徒長は抑制されます。そのため、かん水は容易で、苗の根の老化防止も期待できます。

6. おわりに

この研究成果は、企業に研究開発を委託して行ったガット・ウルグアイランド対策研究開発の成果です。詳しい情報を知りたい方は、下記に示す生研センターのホームページの「研究開発の成果の普及」をご覧下さい。また、製品についての詳しい情報は下記の企業までご連絡下さい。

問合わせ先

- 1) 生物系特定産業技術研究支援センター（生研センター）  
URL : <http://brain.naro.affrc.go.jp/tokyo/>  
TEL : 03-3459-6568 (古川嗣彦)
- 2) アイオン株式会社 農業資材営業課  
URL : <http://www.aion-kk.co.jp>  
TEL : 0280-92-1834 (星 好夫)

\*\*\*\*\*

編集後記

\*\*\*\*\*

今年も暑い夏が続いているが、いかがお過ごしでしょうか。皆さん楽しんでいたる？「普及指導員だより」も少々夏バテぎみで前号に続き今号もお休みさせていただきました。次号には夏バテも解消されていると思いますので、掲載を楽しみにしていてください。



なお、このメールマガジンに関するご意見・ご要望などがございましたら、下記までご連絡願います。

e-fukyu@nm.maff.go.jp

e-普及だよりメルマガ版16号.txt  
03-3502-8111 (4278)

バックナンバーは、普及課ホームページ  
<http://www.maff.go.jp/soshiki/nousan/fukyuuka/newsite/index.htm>  
から閲覧できます。

---

\*\*\* ご注意 \*\*\*

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。  
PDFファイルをご覧頂くためには、農林水産省ホームページにある  
「Get Acrobat Reader」のボタンでAcrobat Readerをダウンロードして  
ください。

---